



条幅規定

師範 安仲 夕蟬

隷書の用筆には問題なく、形よく収められているが、手本に捉われすぎて、や、若さが足りない。師範として、古典・中国書道史を習得し、更なる自己の鍛錬に期待する。

条幅随意

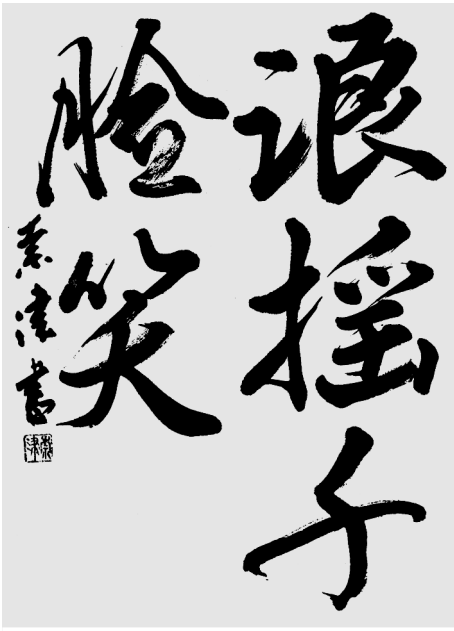
師範 中村 浩子

田舎の坂道を自転車で一気に下った詩情が自然に表現された、作為のない佳作です。細字は筆が小さいせいかわ別物になったのが残念。この線を持つ味とし、書展作品にも活かしましょう。

条幅随意(臨書)

師範 佐田 馨春

原帖をよく観て形よく臨書されていますが、やや一点一画に捉われすぎて、全体が少し重く感じられる。重厚な線、軽快な線を加味しながら、気脈も意識し、書聖の世界を感じよう。



半紙規定

師範 毛利奈津子

形としては、や、難はあるが、豪放磊落な線が魅力的な作品。書は線。若い頃は、この位の凶太さも大事であらう。更なる精進に期待する。



半紙随意

師範 茶圓 光暉

夏生の詩をもう一度詠み直し、手本に捉われることなく、その感動を表現する。書作家としては大いに賛同する。後は己との戦いだ。



半紙随意(臨書)

成家 江川 悦子

リズムに乗って、品格よく、うまく纏めています。墨汁のせい、線が今一步。磨墨をお勧めします。文房四宝へのこだわりを期待。

半折1/2縦

準師範 森 小筑

若干の早書きを感じるが、長鋒筆を自在に操り運腕大きく、抑揚・緩急の変化で線を自在に操り、多彩な線と余白がうまく調和し、書作する楽しさが伝わってきます。

六年 働く 貫志朗

大地 凜

どかぶ かける

花の 凜

探究 立石 凜 春

道 五年 本田 瑞季

日 三年 柳川 みずき

小道 花

紅花 中三 松井 美月

道 小五 颯 太

大地 小四 ひかる

もり まお

学生部条幅 (1/4)

小五 六段 道下 凜花
日頃の努力が実を結んだ完成度の高い明るい作品です。基本の筆づかいや姿勢はとも大切です。基本を忘れず、これからもがんばってください。

城戸 翔 小二 7級
力づよいせんで男の子らしい、かぶとが書けています。名前が細くなつた点がおもしろいので、小筆をもう少しおろしましょう。

小若女 凜 小四 6級
明るくすっきりとした伸びのあつた線にとてもみ力を感じる作品です。上位有段者にも負けない力をもっています。期待大!

蔭平 貫志朗 小六 三段
丁寧な筆づかいで形良く、明るく書けています。小筆の使い方もすばらしい。この調子でさらに上段位を目指してください。

たかはしまお 小一 準8級
とてもげんきよくかけています。おしゅうじのたのしさがつたわるさくひんです。なまえもしつかりとれんしゅううができています。

柳川 瑞稀 小三 準4級
基本の筆づかいがしっかりとできています。力強く名前までどうと書けましたね。これからが楽しみです。期待しています。

本田 瑞季 小五 五段
大人顔負けの完成度の高い作品です。日頃の練習の成果だと思えます。この調子で、特待生を目指し、がんばってください。

立石 凜香 中一 準六段
力のこもつた、厚味ある線で、バランス良く書けています。勉強や部活との両立は大変だと思いますが、頑張ってください!

硬筆部最優秀作品

(5月末日締切分)

(坂元紫香先生評)

段級
氏名
佐藤 希
くまさんが、ふくろをあげました。あな「しまった。あなが、あいていた。」

段級
氏名
城戸 浩菜
漢字辞典では、漢字を部首べつに分類してある。そして、画数の少ないものから順にならべてある。

段級
氏名
坂井 桃子
実験してみよう。新聞紙を、まい用意する。まずは、広げて立ててみる。くたつと曲がって立てられない。次に、丸めて円柱形にしてみる。すると、立つ。

段級
氏名
古賀 璃音
海の中、そして、地球にはまだまだ私たちの知らないことが眠っている。動物たちからもたらされるデータは、私たちが思考できる範囲を大きく広げてくれるはずだ。

段級
氏名
谷 ひとみ
たんぼぼは、花とじくを休ませてたねに、えいようを、おくりまします。

段級
氏名
石橋 彩七
漢字辞典では、漢字を部首べつに分類してある。そして、画数の少ないものから順にならべてある。

段級
氏名
吉本 芽生
「時計の時間は、もともとは地球の動きをもとに定められたもので、いつ、どこで、だれが計っても同じように進みます。しかし、「心の時間」はちがいます。

段級
氏名
利行 榎美
神功皇后が、ある時戦況を占うために釣りをした。そのとき釣れた魚がアユだったので、魚偏に占の漢字が当てられた。日本人との付き合いは古く、万葉集には魚の中で最も登場する。

段級
氏名
吉村 彩芭
相手にきちんとつたえ、るために落としてはいけない。ことは何かを、友だちと考えましよう。

段級
氏名
藤井 唯乃
実験してみよう。新聞紙を、まい用意する。まずは、広げて立ててみる。くたつと曲がって立てられない。次に、丸めて円柱形にしてみる。すると、立つ。

段級
氏名
岡田 笑佳
海の中、そして、地球にはまだまだ私たちの知らないことが眠っている。動物たちからもたらされるデータは、私たちが思考できる範囲を大きく広げてくれるはずだ。

書譜
このたびは奥様が入院されたこと聞き、驚いております。お加減はいかがでしょう。家族皆様も、さぞお心痛のことでしょう。どうか先にお体をお癒しください。すくすくも駆けつけたいと思っております。すが、ご容体が落ち着かれましたら、お見舞いに伺いたいと思っております。一月も早いご回復を心よりお祈り申し上げます。
機井 敏子

佐藤 希 小一 6級
ペンをしようずにつかて、一じーじていねいにかけています。なまえもむずかしいかんじでもきれいにかけています！

谷 瞳 小二 準5級
ペンをつかて、マスいっぱいげんきよく書いています。名前もしっかりと練習ができています。これからもがんばってね。

吉村 彩芭 小三 3級
一字一字力のもった強い線です。漢字より平がなをもう少し小さく書くとさらに良くなると思います。

城戸 浩菜 小四 1級
漢字と平仮名のバランスのよい明るい作品です。細かな点にも気をつけて、しっかりと練習ができています。期待しています。

石橋 彩七 小四 準3級
明るくすっきりとした線で伸びやかに書いています。上位有段者には負けない力を持っていきます。この調子でがんばってください。

藤井 唯乃 小五 準四段
お手本をしつかりと観察しながら丁寧に書いています。鉛筆の持ち方や姿勢に気をつけると伸びやかさが増すと思います。

坂井 桃子 小五 6級
伸びやかな線がとて魅力的な作品です。行ごとの書き始めをもう少し上から書くとさらに良くなります。期待大です！

吉本 芽生 小六 準六段
こつこつと積み重ねてきた練習が実を結びましたね。本文・名前ともにつかりと書いています。次は「ペン」にも挑戦しましょう。

岡田 笑佳 中学 六段
明るくすっきりと、そして、のびやかに書いています。ペンの使い方も見事です。頂上を目指し、これからも頑張ってください。

古賀 璃音 中学 準六段
最初から名前まで集中力を切らさず、とても丁寧な形良く書いています。継続は力なりです。これからも、これからの期待しています。

利行 榎美 一般 師範
迷いのない線、漢字と平仮名が見事に調和した佳作です。起筆を押さえすぎた点に気をつけ、師範正への挑戦を期待します。

櫻井 敏子 一般 準師範
無理のない自然なペン捌きが見事です。自己のリズムを取り入れ、明るく作品を纏められていく点に腕の確かさを感じます。